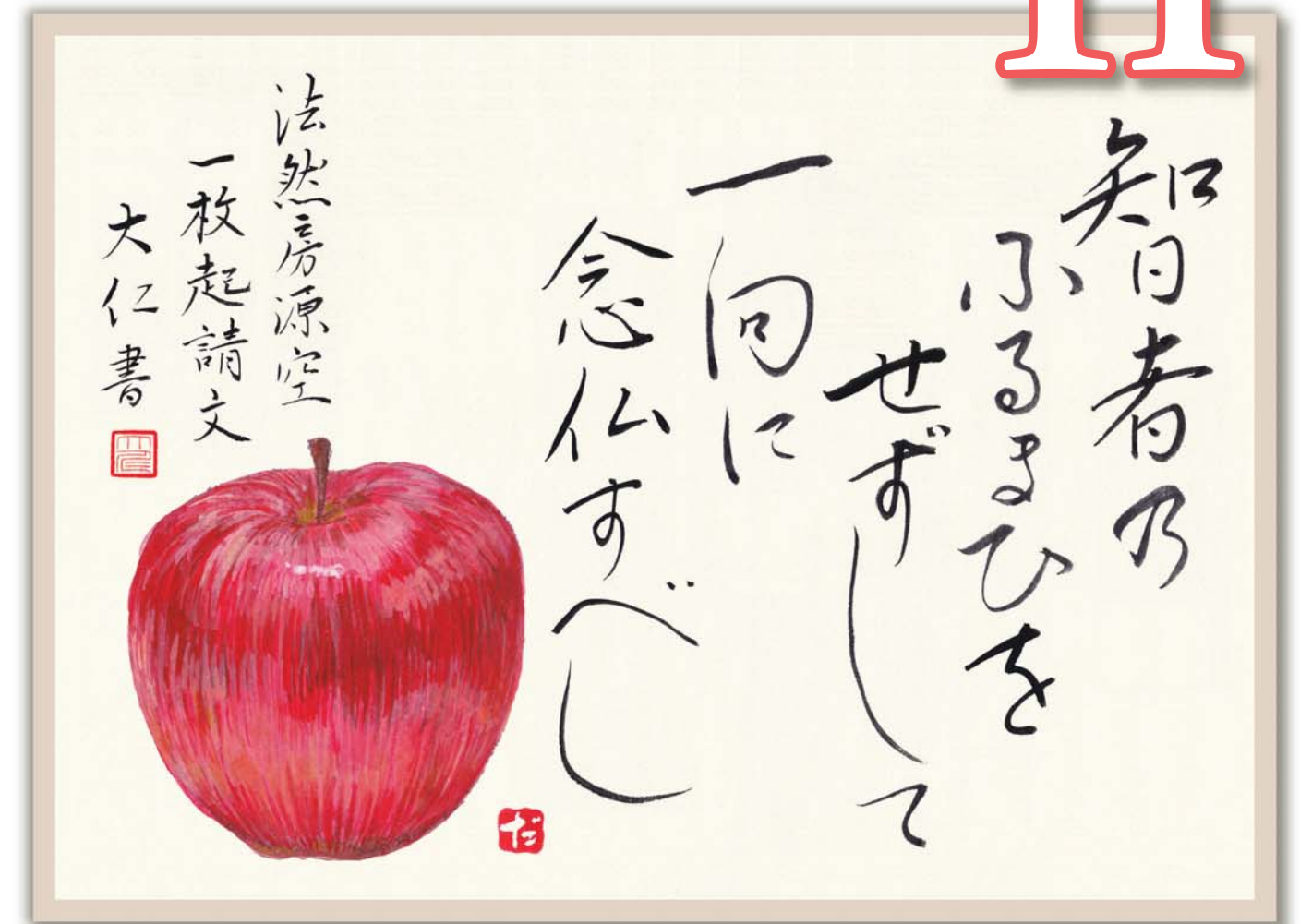
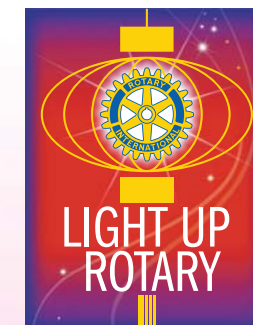


2014-2015 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 11



**Rotary**  
District 2510

はぶあ  
ナイス  
11月

法然房源空は、(1133年-1212年)浄土宗の開祖として仰がれている。1175年(承安5年)専ら阿弥陀仏の誓願を信じて「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えれば、死後は平等に往生できるとし、専修念仏の教えを説いた。

浄土真宗では、法然上人を七高僧の第七祖とし、法然上人、源空上人と称して元祖と位置づけている。親鸞聖人は「正信念仏偈」や「高僧和讃」において、師を「本師源空」や「源空聖人」と称し、師事できたことを生涯において讃えている。

我が親鸞聖人の制作された「高僧和讃」に法然上人を讃えた詩があるので、一首紹介したい。「曠劫多生のあいだにも 出離の業縁しらざりき 本師聖人いまさずばこのたび空しくすぎなまし」人生は様々な出会いの舞台であるが、もしも法然上人に会うことがなければ空しい人生になったに違いないと29歳の時に吉水で法然上人に出会ったことを終生喜ばれた詩である。

一枚起請文という短い法語がある。この言葉は建暦2年正月病床において、弟子の源智の願いを受けて書かれたものとされている。今回紹介した言葉はその結びの一句である。この言葉は念仏を申す態度を示されたものと言われている。他力の念仏は学者の沙汰する観念や理屈をはなれ、智者めいた振る舞いを捨てて、ただ一向に申す念仏でなければならない。「一文不知の身になして尼入道の無智のともがらに同じて、智者のふるまいをせずしてただ一向に念仏すべし」と謙虚に念仏申す態度を教えた遺言の書とも言われている。

人はうぬぼれの強い存在で、何ごとによらず自分を良く見せようとする「智者のふるまひ」をすることも虚栄心のあらわれである。恥ずかしながらと誠められたのである。私は公式訪問を通じて「徳多し」ロータリアンにお会いできたことが、地区ガバナーとしての最高の報いであった。良き友を多く得たように思う。

CONTENTS

- ガバナーメッセージ ..... 1
- ロータリー財団月間に因んで ..... 2
- 財団資金の有効活用に向けて ..... 3
- 国際ロータリーの活動を支援するために ..... 4
- 地区補助金について ..... 5
- ロータリー財団月間によせて ..... 6
- もうすぐVTT実現か ..... 7
- ロータリー財団月間によせて ..... 8
- RI第2510地区ポリオ撲滅運動の現状報告 ..... 9
- ポリオプラスに協力しよう～楽観論には少し慎重に～ ..... 10
- 地区大会青少年並行プログラムを終えて ..... 11
- クラブ紹介(第4グループ)/「豪雨災害義援金」報告 ..... 12～13
- 第2510地区「職業奉仕フォーラム」の実施報告 ..... 14
- 高齢会員について考える ..... 15
- 米山記念奨学会・ロータリー財団へのご協力への感謝/  
2017-2018年度 ガバナーノミニ候補者推薦のお願い/地区組織図の変更について ..... 16
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員会から/米山便り ..... 17
- 新会員のご紹介/訃報/文庫通信 ..... 18
- 出席率・会員数 ..... 19
- 地区カレンダー(11月・12月) ..... 20

クラブ会長様  
クラブ幹事様



国際ロータリー第2510地区  
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)

会長・幹事さん、先月は地区大会の開催にあたり、多くのロータリアンと一緒に参加下され、大会を盛り上げて戴いた事に心からの感謝を申し上げます。

ゲイリー・C.K.ホアン国際ロータリー会長代理として派遣された松本茂太郎バスターガバナーと令夫人洵子様にご指導を賜り、松本茂太郎RI会長代理の素晴らしい指導力とお人柄で、感動的で思い出に残る大会にさせて戴きました。主催者として参加のロータリアンの友情に心から厚く御礼申し上げます。

11月はロータリー財団月間です。財団と言うと多くのロータリアンは、寄付を思い出して耳障りだと言わんばかりに拒否反応を起こしています。何故かと考えますとロータリーは精神的で哲学そのものだと言うのでしょうか。それが寄付、寄付では駄目だと言うのです。ロータリーが創立以来今日まで世界平和を願い、世界で良いことをしようと出来たのがロータリー財団でした。アーチ・クラフが国際ロータリー会長に就任した時にその歴史は始まるのです。9月14日のロータリーデーとその前後2週間のロータリーウィークで各クラブ或いは各グループで実施されたポリオ撲滅に向けて取り組まれた募金は、使途指定寄付として財団に、各クラブ名で送金されました。これは使い道をポリオに限定した寄付になります。ご協力に感謝申し上げます。

ロータリーはこの数年変革が著しいと感じます。2000-01年度(遠藤正之ガバナー年度)には地区リーダーシッププラン(DLP)が試行され、2004年の理事会はクラブリーダーシッププラン(CLP)の検討に入り、当地区では5年前から議論が進められて参りました。CLP採用を採択して耳慣れた感がありますが、充分理解が進んでいるとは言えないでしょう。このプランは未来のロータリーを支えるプランとなる予感があります。奉仕はただ施すことではなく、綱領にもある様に、ロータリーは奉仕の実践哲学だと思います。

我が地区では、CLPを地区組織に如何に組み込むかを悩みました。何が悩みになったかは、奉仕プロ

ジェクト委員会にどこまで集約するかでした。検討の結果、職業奉仕を除く、社会奉仕と国際奉仕と青少年奉仕を担当する委員会を奉仕プロジェクト委員会にお願いすることにしました。そして3つの委員会の連携と連帯を深める意図で出村知佳子青少年奉仕委員長に奉仕プロジェクト委員長を兼任して貰いました。

地区大会の指導者育成セミナーでのフォーラムを思い出してください。テーマは「世界・地域社会で良い事を実践しているロータリー」と題して5人の地区委員長にパネリストをお願いして活動の趣旨を報告願いました。今年は特に人道的な緊急性の高いポリオ撲滅に向けての取り組みを重点課題として活動しています。併せて広報委員会を独立させて、公共イメージの向上に取り組んでいます。この委員会は奉仕プロジェクト委員会の3人とポリオプラス委員長と広報委員長の5人で行われました。今回のフォーラムをお聞きになってお解り戴いたと思いますが、奉仕プロジェクト委員会の其々の活動は地区資金から委員会費は賄われますが、特別地区資金以外の事業費の多くは3年前にロータリー財団に寄付された分から、地区補助金やグローバル補助金として使われることになります。従来海外との大規模な共同プロジェクトにマッチング・グラントを使用することもできます。また新制度ではグローバル補助金として使いやすくなります。是非ご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様の善意がロータリー財団を通じて若者の育成や世界の平和にも繋がると信じています。

各クラブの会長・幹事さんには財団の補助金を申請して、地域社会のニーズに合った奉仕活動に又国際奉仕のプロジェクトに青少年育成のプログラムに参加して下さい。そのために地区組織がクラブをサポートします。クラブを強化するために生まれたのが、クラブリーダーシッププランです。ガバナー補佐と地区委員会をご活用ください。皆様からの要請をお待ちしています。皆様の善意をロータリー財団にお寄せ下さい。

## ロータリー財団月間に因んで

地区ロータリー財団委員会  
委員長 遠藤 秀雄 (登別RC・PG)



1905年2月23日ポール・ハリス他3人で最初のロータリー例会が開かれたことは余りにも有名であります。最初の綱領は互惠取引と親睦でありました。しかし、会員数が増えると公共の奉仕をするべきだとの意見が出て、1907年ドナルド・カーターの草案で第三の綱領として「奉仕のこころ」が加えられました。その後100年を超える歴史の中でその思想は途切れることなく受け継がれて来ています。

1917年アーチ・クランフがRI会長としてアトランタ大会で「さまざまな社会奉仕を今まで通り続けていこうと思うなら、世界で善を成すための寄付金を受け付けることは極めて適切なこと」と語ったことから、大会の剰余金26,500ドルを資金に「ロータリー基金」を立ち上げたのがロータリー財団の始まりであります。財団への寄付によってロータリー創立者を称えたいとの願いから、ポール逝去後10年の1957年ポール・ハリス・フェロー制度ができました。そして、ロータリー創立100周年までに約100万人のポール・ハリス・フェローが誕生しています。

ロータリー財団への寄付はポール・ハリス・フェローを始め色々な方法があります。予算によって個人でも法人でも寄付することができます。クラブや地区の事務局にご相談頂きたいと思えます。日本財団法人(公益法人)を通して寄付されると税制上の優遇措置が受けられます。ロータリー財団に寄付された金額はすべて奉仕活動に使われます。そのため寄付金は3年間財団にプールされ、その運用益の一部が財団運営費として使われる仕組みになっています。

ロータリー財団の奉仕活動の在り方が2013年7月から大きく変わりました。新しいロータリー財団プログラムの目的は以下の通りです。

「財団のプログラムと運営を簡素化すること」  
「ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞ること」  
「世界的目標と地元の目標の両方を果すためのプログラムを提供すること」

「意思決定権をさらに地区とクラブに移行することによって、地区やクラブレベルでロータリー財団が自分達のものであるという自覚を高めること」

「ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること」

またプログラムを実施する際には重点分野が決まっています。

「平和と紛争予防／紛争解決」

「疾病予防と治療」

「水と衛生」「母子の健康」

「基本的教育と識字率向上」

「経済と地域社会の発展」

これらの重点分野を考慮しながら活動計画を立てて頂きたいと思えます。グローバル補助金を使用する場合は必須となりますのでご注意くださいと思えます。

地区の活動計画は以下の4点です。

- ポリオの撲滅に協力する
- 「毎年あなたも150ドルを」に協力いただきたい
- 年次基金への寄付の地区目標は35万ドル以上
- ロータリーカードの入会に協力いただきたい

今年度地区補助金は78,566ドルでしたので以下のように配分しました。

地域社会活動費(20件) 39,000ドル

奨学金、災害復興支援、国際奉仕活動費 39,000ドル

グローバル補助金としては奨学金1件申請中です。

今年度の地区補助金は8月6日にロータリー財団により承認され送金されてきました。すでに申請のあった20クラブには入金され、活動に使われていると思えます。前年度の活動報告書が提出されていないと今年度の補助金が送金されてきませんので奉仕活動終了後すみやかに報告書のご提出をお願いします。

ロータリー財団はロータリアンの寄付金で成り立っている組織であります。そして国際ロータリー活動のエンジンとなっています。これからも皆様のご協力をお願い致します。

## 財団資金の有効活用に向けて

地区財団資金管理委員会  
委員長 久保田 俊昭 (札幌RC)



財団関係の地区組織は、「財団委員会」の下に七つの小委員会に新しく再編されましたが、当委員会は地区補助金の適正な配分、補助金管理の適切な実施、クラブの参加資格認定等を支援することを担っております。

クラブや地区が地域密着の奉仕プロジェクトや国際奉仕活動を展開する上で、皆様方の善意による浄財(寄付金)を効果的に活用するためにも、公正・適正な配算と厳正な執行に留意していかねばなりません、ご不明な点がございましたらお問合せを頂きたいと存じます。

「未来の夢計画」の本実施に向けてこれまで各種準備を進め、財団活動を分かり易く解説した冊子の編纂や補助金活用(社会奉仕・国際奉仕、奨学金、職業研修等)に関するセミナーを開催して、クラブの皆様にご指導助言を行なって参りました。

なお今後クラブが地区補助金を活用するためには、①補助金管理セミナーの受講 ②補助金授受の専用銀行口座の開設 ③クラブでの補助金活用管理の徹底 ④補助金活用に関する所用書類の一定期間の保存 ⑤クラブ覚書(MOU)への同意署名等を行なうことが義務付けられております。

今後地区としては、クラブが地域で主体性を

持って自主的な奉仕プロジェクトを実施していくうえにおいて、その調査・計画作りや、地区補助金活用に向けての事務手続き等を進めるうえでの協力支援を適切に行う所存であります。

クラブにおかれましては、奉仕活動の準備・計画提出(計画年度)と、実施・報告(実施年度)の2年一区切りが業務サイクルとなります。即ち、地区補助金の申請を計画年度に、実施・報告を実施年度に行なうこととなりますので、クラブの組織・業務体制をこれに対応できるように検討し、体制整備を行って頂きたいと存じます。

また、2014-15年度における当地区への地区財団活動資金(DDF)としては、78,566ドルありますが、その内訳として、地域奉仕活動へは二分の一の4万ドル弱を配算し、あと残りの金額を奨学金、国際奉仕活動、東日本災害復興支援プログラムで活用することにしておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

私共が奉仕活動をさらに強化して実践していくためには、奉仕活動プロジェクトの中身の充実と資金面での支援が共に力を発揮することによって、素晴らしい成果が生み出されることを確信しており、クラブからの積極的なご提案をお待ちしておりますので宜しくお願い申し上げます。

## 国際ロータリーの活動を 支援するために

地区財団資金推進委員会  
委員長 鍋谷 操子(函館セントラルRC)



当委員会は、昨年度から本格実施した財団の「未来の夢計画」に先駆けて新設されました。当委員会の役割は、地区の募金活動の方策を監督し、クラブが年次基金と恒久基金への寄付目標を設定してこれを達成できるよう支援することです。

1917年の国際大会で、当時のRI会長のアーチ・C・クランプが、ロータリー基金の創設を呼びかけましたが、それに呼応して、翌年、カンザスシティRCが26.5ドルを基金に寄付しましたが、これがロータリー基金にとっての最初の寄付金であります。私達が、地域社会や国際社会で奉仕活動をさらに強化し、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面での援助が必要であります。

2004年規定審議会では「Every Rotarian Every Year」が採択されて、1人1人が毎年、寄付をしてほしいということが決議されております。

当地区としては、2014-15年度におきましては「毎年あなたも150ドル」を寄付することを目標に掲げ、さらに会員数から推して、年次寄付の地区目標を35万ドルとしています。これが目標達成に向けて会員各位のご協力をお願いするところでもあります。

さらに寄付金としては、上記の年次寄付以外に、恒久基金、指定用途寄付、ポール・ハリス・ソサエティ等へのご協力についてもお願いしておりますが、理解が今一步のところであることが残念なことであります。

財団では、他の奉仕団体とは異なり全ての寄付を奉仕活動に使っており、財団の運営費等は皆様からの寄付を運用した運用益から賄っております。また、ロータリアン一人一人からの寄付は、世界中で有効に使われており、寄付をすることは、世界中の奉仕活動に参加しているということをご理解いただきたいと存じます。

なお、財団への寄付に対しては、寄付者に分かり易い形で、寄付行為に感謝の念を表す「認証」があり(寄付者とすぐに分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈る)、また、個人や法人の寄付に対して、税制上の優遇措置を講じることができるようになっております。

景気回復の兆しが若干ながらみられますが、社会経済情勢が先行き不透明な今日、財団へのご寄付をお願い申し上げますことは誠に心苦しいことではありますが、世界平和の達成・維持に向けてのご支援・ご協力を深くお願い申し上げます。

## 地区補助金について

地区財団補助金委員会  
委員長 齋藤 康嗣(札幌真駒内RC)



2014-2015年度の地区補助金は、各クラブのご協力により、9月初めに補助金を各クラブに入金をさせていただきました。2014-2015年度はガバナー方針により、補助金の支給を年度初め(7月末)とのご依頼でしたので、皆様には大変忙しい日程になり、申し訳ありませんでした。

### 2014-2015年度の状況

- ・2013年12月 地区補助金管理セミナー(1回目の補助金説明)
- ・2014年3月 PETS地区補助金の2回目の説明
- ・2014年3月31日 2014-2015年度申請締め切り
- ・2014年4月~6月 申請内容の審査(地区)
- ・2014年6月20日 最終審査(支給額決定)…各クラブに連絡
- ・2014年7月 RIに申請
- ・2014年8月 RIの承認許可
- ・2014年9月9日 地区補助金口座に入金…各クラブに連絡

日程のとおり、RIから承認、入金に1ヶ月半かかりますので、2015-2016年度も、同じく2015年3月31日申請締め切りとさせていただきます。各クラブの申請内容と決定額、今期は申請20クラブで全クラブに支給いたしました。

### 2014-2015年度 地区補助金申請内容

2014.6.20(最終決定)

クラブ名	申請金額	決定額	内容
深川	145,000	80,000	●「冒険遊び場プレーパーク」での児童との触れ合い交流(遊び)の実施/2013年度からの継続
羽幌	200,000	130,000	●地区公共の場所(ピオトブ公園)での環境植樹と整備事業/2013年度からの継続
留萌	231,120	180,000	●海水浴場の清掃活動とコスモスの植花と生育(環境保全)(耕具等をレンタルに変更)
岩見沢	299,880	224,200	●児童養護施設へのキャンプテント8張の寄贈
札幌北	399,600	160,000	●児童養護施設育児の野外体験学習と絵画コンクールの実施
札幌西	300,000	210,000	●乳癌の検診・啓発活動の現状認識と支援活動の実施(チラシ)(のぼり、旗寄贈に変更)
札幌東	300,000	210,000	●母子家庭の家族と交流事業(川祭り参加等)
札幌南	195,000	140,000	●ひとり親クリスマスふれあい会の企画運営/2013継続プロジェクト
倶知安	300,000	210,000	●札幌楽団の招致、ジュニアへの音楽教室とコンサートの実施(障害者施設の子供を対象に考慮)
小樽	220,000	160,000	●小樽、千年の森植樹
千歳セントラル	300,000	210,000	●震災地・岩沼市での地元生産野菜の購入・販売による支援(岩沼市に植樹の木を寄贈)
伊達	200,000	110,000	●地域環境保全活動(清掃、長流川)と野鳥カードの作成・配付
室蘭	150,000	150,000	●地区公共の場所(新設中学校)での環境植樹
室蘭東	255,900	210,000	●知的障害者への農業体験事業(畑の手入れ、植え付け、収穫)
函館	323,000	300,000	●聾学校への出前授業の実施(FMシステムの活用)
函館亀田	250,500	140,000	●会員職場への中学生の受け入れ授業の実施(会社実習研修)
長万部	181,440	180,000	●災害指定場所(保育園)への折たたみ避難車の寄贈
函館セントラル	300,000	210,000	●あんじゅう七飯浜 歩行器の寄贈
函館東	284,900	260,000	●身障者への車椅子の寄贈(バンコック及び周辺地域)
白老	70,000	70,000	●地域公共の場所(グループホーム、老健施設)での植樹
合計	4,906,340	3,544,200	

2014-2015年度の各クラブの申請内容は、地域の社会奉仕活動に活用しようとの内容が多くありました。予算枠が少なく十分な支給ができませんでしたが、各クラブを有効に活用していただいております。

2クラブの活動写真を掲載させていただきます。

今回の地区補助金で、申請各クラブをお願いの事項があります。申請内容を実行後、2014-2015年度報告書を早めにガバナー事務所に送付いただきたいと思います。2013-2014年度の申請各クラブの報告が遅れ、RIの申請に影響があり、遅れが生じました。(RIは前年の報告、会計が終了しないと承認がおりません)12月から2015-2016年度の地区補助金の申請説明が始まりますので、各クラブは次年度の活動計画をご用意お願いいたします。

## ロータリー財団月間によせて

地区奨学金委員会  
委員長 齊藤 博司(千歳セントラルRC)



RIからの組織変改があり、当地区でもその名称および補助金にたいする変更がありました。即ち、名称としては、財団国際親善奨学生から地区財団奨学生に変わり、補助金に対するものとしては、文化研修生(3ヶ月\$6,000、6ヶ月\$10,000)とグローバル補助金制度(\$30,000)に変わりました。



文化研修生については、地区補助金より奨学金が交付される。選考から派遣までの一連の流れは地区奨学金委員会の責任で行うことになりました。また、グローバル補助金対象者については、RIが推奨する6項目の重点項目に沿う研究内容でなければならないと云う縛りがもうけられました。1学年度派遣と云うことから、その内容を精査し、且つ留学先の教育機関のほとんどが9月スタートである為、次年度に派遣することになります。募集のための印刷物の作成・その配布から始まり、各RCとの折衝・RCから推薦をうけた者たちの書類選考・最終面接審査(地区財団委員会および小委員会である学友・奨学金)を行い奨学生候補者を決定する。その間に、不合格者及び推薦RCにその旨を連絡する。同様に合格者・推薦RCに連絡する。次に2~3回のオリエンテーションおよび提出書類などがクリアされた後、該当する国に派遣する。派遣者に対しては、留学先での連絡網をたもち、事故のないように注意をおこたらない。

2013-14年度(新体制になって、初めての派遣)は、文化研修3ヶ月対象者をイタリアに・6ヶ月対象者をアメリカに派遣しました。すでにこの者たちは

帰国しています。また、グローバル補助金候補者については、提出書類などは整ったのですが、本人体調不良のため派遣はまだ実現していません。

2014-15年度(本年度)の派遣については、3ヶ月文化研修生はインド(すでに出発)、6ヶ月の研修生はイタリアに決定しております。本年度は派遣の性格上(種類が異なる)、地区派遣の文化研修生とグローバル補助金対象者を区別してオリエンテーションを実施しております。前年度派遣の文化研修生は、留学先での見聞を第2510地区内クラブですでに数件の卓話を行っております。また、2015年1月31日(土)の財団学友会主催による帰国報告会ではロータリアンへの感謝と留学先でのRCとの交流をまじえての報告となります。



次年度(2015-16年度)地区財団奨学生の募集については、すでに委員会活動は始動しており、募集に関しては、2015年3月-4月にかけて行い、5月末をもって当委員会に各RCの推薦を含め、必要な書類を提出していただきます。その後、当委員会にて書類選考を実施し、6月中には最終面接審査を行いたいと思います。7月からオリエンテーションを数回行い、補助金がおろしだい奨学生候補者にその旨を連絡し、送金のはこびとなります。補助金の内容については、前年度同様と考え、文化研修生3ヶ月は\$6,000・6ヶ月は\$10,000およびグローバル補助金対象者は\$30,000を予定しております。

## もうすぐVTT実現か

地区職業研修チーム委員会  
委員長 神部 洋史(滝川RC)



「未来の夢計画」に則った地区補助金の移行により、既存の地区委員会で一番変わったのは研究グループ交換(GSE)から変更された職業研修チーム(VTT)委員会と言える。

この委員会の役割を一言で言うと「海外の地区に専門職種のスキルアップを図るためのチームを組織し派遣する」となっている。

当地区の地区補助金の使途は、各クラブの奉仕活動の補助金や奨学生の資金に使われている。この地区補助金をVTTで使うと、各クラブの補助金に支障を来すため、VTTはロータリー財団のグローバル補助金を使うこととした。

グローバル補助金を受けるには、VTTの性格が「6つの重点分野」(注参照)のいずれかに合致していなければならないなどの制約もあるため、具体的にどのようなVTTを派遣できるのかを検討していた最中、職業研修をタイで行うと云う、国際奉仕委員会との合同委員会を設置して一つのプロジェクトをやり遂げるという案が昨年度末に提案された。

両委員会が合同で協議して今後発表される予定のVTT派遣について承認された。(詳細はロータリー財団本部の回答待ちのため後日発表)

国際奉仕委員会を中心に、もの凄いスピードでプロジェクトとして組織化され、派遣する専門職

種のメンバーもほぼ選任される予定で、確定ではないのが残念であるが、月信に第1報として投稿する次第である。なお前述の合同委員会は、枠を超えて社会奉仕や広報・RYLA・学友委員会等も加わり「職業訓練支援事業委員会」となり進行されることとなった。

10月13日(木)に行われたこの委員会で「洋裁研修」の派遣団員(講師)が紹介され、チームリーダーと一緒に撮られた写真を掲載する。

注)6つの重点分野とは、

- ① 平和と紛争予防/紛争解決
  - ② 疾病予防と治療
  - ③ 水と衛生
  - ④ 母子の健康
  - ⑤ 基本的教育と識字率向上
  - ⑥ 経済と地域社会の発展
- を言う。



## ロータリー財団月間によせて

地区財団学友委員会  
委員長 菅原 秀二 (札幌大通公園RC)



財団学友委員会は、国際親善奨学生とGSEの経験者で組織される財団学友会の活動に対する助言と支援を行う委員会です。それによって、財団学友のロータリー活動への参加を促し、逆に財団学友に対するロータリアンの理解を促進することを活動の目的としています。以下、本委員会の活動内容についてご紹介します。

まず、恒例の帰国報告会が、2014年2月1日(土)に開催されました。これには4名の国際親善奨学生からの帰国報告を予定していましたが、残念ながらそのうち1名が体調不良で急遽キャンセルとなりました。関係の皆様にはご迷惑をおかけしました。なお、写真は帰国報告の様子を示したものです。



この会にはガバナーや財団委員長をはじめ、スポンサークラブの方々や米山学友委員会など多くのロータリアンが出席して下さいました。この場を借りて御礼申し上げます。今年度も、国際親善奨学生や新奨学金による初めての奨学生による帰国報告を中心に、2015年1月31日(土)にセンチュリーロイヤルホテルにて開催予定しておりますので、関係のロータリアンのご出席をお願いいたします。

また、例年のように地区大会では、本委員会と財団学友会によってブースが設営されました。その際に、過分な援助金を財団学友会に寄付していただき

ましたが、援助をいただいた方には最新の学友会ニュースレターを差し上げることができました。今年度もその発行は継続される予定です。なお、例会での学友による卓話の紹介も積極的に実施していきますので、もし財団月間や国際理解月間などでの卓話のご要望があれば、本委員会までお寄せ下さい。財団学友には国際親善奨学生として、あるいはGSEのメンバーとして、国際経験豊富な人材がそろっていますので、ご利用いただければ幸いです。もちろん日本ロータリー学友会や米山学友会との交流や学友のロータリークラブへの入会の促進も継続して行っていきます。

昨年度から新奨学金の募集が行われ、3名の奨学生候補者が決定し、そのうち2名は留学を終えて帰国しました。地区補助金によるイタリアでの3カ月の文化研修の一端を写真で示しましたのでご覧ください。興味のある方は、前述の帰国報告会に是非、ご出席下さい。なお当委員会は、財団学友会と協力し、奨学生のオリエンテーションなど後輩への指導を積極的に実施していく所存です。

最後になりましたが、財団学友会10周年記念事業である『黄金の歯車』の翻訳も、本委員会の後援のもとで遅々としてではありますが、進行しています。なんとか完成にこぎつけたいと思っていますので、ご支援のほどよろしく願い申し上げます。



## RI第2510地区 ポリオ撲滅運動の現状報告

地区ポリオプラス委員会  
委員長 岡崎 芳明 (小樽南RC)



国際ロータリーの最重点項目であるポリオ撲滅運動に一層の理解を深め積極的な活動の促進に努めることを目的にポリオプラス委員会はロータリー財団の小委員会として当地区に今期初めて設立された委員会です。

ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会等との連携や協力を図り、募金活動やイベント活動を積極的におこなって貰う事を推奨サポートし、ポリオ撲滅運動を通してロータリーの公共イメージの向上を図ることを支援することが主な活動方針です。

今期初めに、支援活動を進めるに当たりポリオ撲滅支援バッジを地区内各クラブに購入をお願いし、会員皆様のポリオ撲滅に対する意識を高めて頂くと共にポリオ撲滅キャンペーンの際にご利用頂く事を推奨いたしました。また各クラブにポリオ撲滅ポスター5枚、ポリオ撲滅チラシ100枚、募金箱ステッカー9枚、のぼり1枚を配布致しました。ポリオバッジ購入は60のロータリークラブさんにご協力頂きご購入頂いた総数は2410個です。一番多く購入頂いたクラブが140個で会員数は40名でした。また会員数4名で1人当たり10個ご購入頂きポリオ撲滅イベントに活用頂いたクラブもありました。のぼりは116枚配布し、現在残りは34枚となっております。ポリオアンケートを拝見しますとロータリーデー・ロータリーウィークにつきまして皆様工夫をされ、かつてない規模でポリオ撲滅の募金活動をして頂きポリオプラス委員会として大変ありがたく思っております。ご苦勞様でございました。

今期ロータリーデーやロータリーウィークが設けられ、8割以上のクラブが今までの様なクラブ内募金だけではなく、地域に対してロータリーの認知度向上とポリオ撲滅の必要性とその為の資金を募る事に対して、地域に募金活動の輪を広げて下さった事は大きな成果と思われま。アンケートを見るに、7月から9月ま

でに募金広報活動を計画され予定額を提出してくれたクラブは約44クラブで募金総額は236万円、更に来年6月末までの募金予定額は187万5千円で、44クラブ予定募金総合計額は423万5千円になります。目標1クラブ1500ドルにはまだまだ不足しております。羽部年度は開始4ヶ月です。今後ともポリオ撲滅資金集めにご協力をお願い申し上げます。

9月14日(日)に第4、第5グループさんのポリオ撲滅啓蒙募金活動は、札幌市内11か所で行われ、その後江崎パストガバナーの講演と桂枝光さんの落語、SHANTIさんのチャリティJAZZコンサートで計80万円強のポリオ撲滅募金を生み出すことが出来ました。各クラブの活動報告を拝見しますと、チャリティゴルフ(パークゴルフ含む)3クラブ、チャリティコンサート4クラブ、地域のお祭りやイベントを活用してキャンペーンを開催して頂いたクラブが1番多く14クラブでした。各クラブとも新聞、チラシ折込み、ラジオ放送、地域の祭りやイベントと合同で広報を行う事など、ロータリーの歴史の底力を垣間見た気も致します。フリーマーケット、農産物販売、講演会、無料相談会など特に少人数のロータリークラブさんが地域を巻き込んだイベントを行って下さいました。反面、街頭募金はロータリアンに似つかわしくない、又今年だけではなく継続が大切とのご意見も賜っております。

ポリオ撲滅計画は2013年より2018年の5年間続けられる予定です。この5年間皆様が出された募金の倍額をビル&メリンダゲイツ財団が補助してくれます。この度の地区大会に対して各クラブからポリオ撲滅キャンペーンの写真、ビデオ、アンケートと多数の資料をお送り頂き、ありがとうございました。

今期地区ポリオ撲滅運動の状況をかいつまんでお話し致しました。撲滅迄あと少しです。今後ともポリオ完全撲滅に對しまして皆様のご協力をお願い致します。



## ポリオプラスに協力しよう ～楽観論には少し慎重に～

国際ロータリー第2510地区  
パストガバナー 小林 博(札幌北RC)



2013年7月スリランカのコロナボの日本国大使館(粗信仁大使、北大農卒)公邸の晩さん会でラビンドゥラさんとお会いした。

ラビンドゥラさん(愛称ラビさん)はRIの会長ノミニー(2015-2016)に内定していたときで、大変な意気込みで「ロータリーの力でポリオの解決も近い!」とその自信のほどを語っておられた。話を聞いている方々もみな「同感」という表情だった。

でも私はラビさんに失礼がないように、そっと「ラビさん、それは少しく楽観的すぎませんか」と率直に申し上げた。我々ロータリアンの多くはラビさんと同じように考えているのではないだろうか。

しかしWHOの今年5月のレポートを見てわかるように、ポリオは依然としてパキスタン、カメルーン、シリアでかなり発生していて周辺への伝染の可能性が高いという。ポリオ患者はアフガニスタン、赤道ギニア、エチオピア、イラク、イスラエル、ソマリア、ナイジェリアにもみられる。だからこれらの国々への渡航者は事前に不活化ポリオワクチン、または経口のポリオワクチンの接種が必要とWHOは警告している。

ポリオ対策はラビさんがいわれるように、ロータリーの大きな貢献もあって凡そ成功した。いや成功したかに見えた。そして残る国は3、4か国に限定されてきたようではあった。しかし、いまた

再燃の兆候が出されたのである。そんな楽観と失望の繰り返しの歴史が今日まで続いてきたのである。

ポリオの完全撲滅はなぜ難しいのか。ウイルスは糞便中に生息する。排出された糞便のなかのウイルスは劣悪な環境下にある人体に常に新たな感染源となり流行、蔓延していくのである。とくに飢餓、衰弱などの異常な状況下の人間に発症する可能性が高い。

残念ながら現地の多くの人の腸内に常在に近い状態で存在し続けるポリオウイルスの完全除去は不可能に近いのである。

ポリオは、ほぼ絶滅された天然痘とは基本的に違う。その完全撲滅の難しさは長い歴史が教える。結核も特効薬が出来たのに日本だけでも未だに毎年2,000人の方々が亡くなっている。ポリオは完全撲滅を狙うのではなく、かつての大流行の再燃を起こさないように留めておけば、それでいいのではないかと思う。今回の再燃の兆しも大事に至らないように打ち止めにしなければと思う。

「ポリオの解決は近い」、とか「ポリオ根絶あと一歩」との楽観論には慎重であったほうがよさそうな面もある。

ラビさんも最後は納得してくれたようである。

## 地区大会青少年 並行プログラムを終えて

地区青少年奉仕委員会  
委員長 出村 知佳子(札幌北RC)



2014-2015年度地区大会「青少年並行プログラム」が10月5日(日)に実施されました。

青少年交換学生、米山奨学生、ローターアクター、インターアクター、99名という多くの皆さんの参加登録がありました。

今回の並行プログラムは「歌おう、食べよう、学ぼう、そして届けよう～北海道・音楽・食とテーブルマナー講座～」と題し、ロイトン札幌にて開催され、特別ゲストとしてオホーツク観光大使、知床出身ボーカル「laufen(ラウフェン)」をお招きして行われました。司会進行は地区広報委員である大浦隆司ロイトン札幌総支配人が担当しました。

ラウフェンのCukaさんの透き通る歌声と、克さんの軽快なギター演奏で会が始まり、北海道初のブラインドサッカーチーム「ナマラ北海道」の応援歌等も演奏され、演奏の最後には全員で「Let it be」を合唱しました。



素敵な演奏のあとは、テーブルマナー講座です。ロイトン札幌の講師の先生による講座が開催され、美味しい洋食のコースを頂きながらマナーのポイント等、正しいテーブルマナーを学びました。

素敵な演奏と美味しい食事とマナー講座で、お腹も心も満足なプログラムとなりましたが、合わせてこのプログラムの中で、タイの東北地区の生徒達が通うロイヤルキングスクールに千羽鶴を届けようと呼びかけに、参加の皆さんが一生懸命に鶴を折ってくれました。



松原国際奉仕委員長には、千羽鶴作成の呼びかけをして頂き、小林博パストガバナーには、世界中には多くのそういう若い人たちがいることを忘れないでほしい…とメッセージを頂き、心を一つにしました。

本当は最後に皆さんの感想を聞く時間を作りたいのですが、残念ながらその時間がありませんでした。しかし、とてもいい時間を過ごしたという事を関係ロータリアンを通じてお聞きすることができました。

地区内青少年の皆さんが揃って集う機会はこの機会だけです。来年も青少年の皆さん一緒に考えてみる機会にできればと思っています。

ご参加頂いた皆さん本当にありがとうございました。そして、ご協力を頂きました、青少年関係担当ロータリアンの皆様はこの場をお借りして深く感謝申し上げます。「本当にありがとうございました」

## クラブ紹介

### 札幌 ロータリー クラブ



1932年12月3日、東京RCをスポンサークラブに日本で8番目のクラブとして誕生し、2014年5月21日に第4000回例会を迎えました。

クラブの特徴は北海道のオリジナルクラブとして歴史と伝統をもっていること、創立以来12名のガバナーを輩出し地区活動に貢献してきたこと、伊藤義郎RI元理事を初めとして9名の会員がRIから在籍50年の表彰を受けていることなどがあげられます。

このような歴史と伝統を継承し、格式ある例会運営を心がけるために、今年度の活動計画として1.国際的な奉仕活動を支援する。(地区のポリオ撲滅に協力する)2.地区との連携を強化する。3.クラブ事業の更なる充実を目指す。4.クラブの組織強化を推進する。を掲げました。また、クラブの例会は会員相互のコミュニケーションの場、企業活動から離れた憩いの場、すばらしい方々との交流の場であると考え、親睦をさらに充実していき、先人から受け継いだ奉仕活動を堅実にやりたいと考えております。

### 札幌 はまなす ロータリー クラブ



創立23年目の今年度2名の新会員を迎え14名の会員でスタートを切り、更に1名の会員が増える予定で増強指数は上々です。

7月には、はまなす杯少年野球大会開催、国際奉仕事業では地区事業のクリーンウォーター事業の参画など活発な活動を行っています。

クラブの特徴のひとつには任意ですが、毎年全会員が100ドルを年次寄付に協力、同時に米山特別寄付金も毎年6,000円以上積立寄付をしていることが挙げられます。地区からの要請にも対応し少人数でも団結して活発な活動ができる協力体制は自慢出来ることです。

また現在までに2名の女性会員がガバナー補佐として活躍しています。公式訪問で羽部ガバナーから、少人数のクラブならではの特性を活かした活動の細やかさについて好意的な評価をいただきましたので、今後も協力して邁進して行きたいと思っております。

会報・計画書・報告書・会員手帳などは、10年以上前から全て手作りで新しいことにも挑戦するクラブです。

小山内会長は重点目標として、東日本大震災の復興援助「自然エネルギーと環境の事典」を福島県内の中学校に寄贈する運動について活動を掲げ準備をしているところです。

### 札幌北 ロータリー クラブ



今年度は創立44周年を迎え会員数33名で女性会員3名の平均年齢63歳の構成です。

地区には6名が出向し精力的に活動し地区とのコンセプトを固めております。

これまでにガバナーを3名輩出しております。

スローガンとして、ロータリアンとして奉仕の理想を学びロータリーを楽しもうを掲げました。当クラブの基本的精神である「明るく調和のとれた居心地の良い楽しいクラブ」を実現し、本年度は、これに「愛と感謝と奉仕の心」を併せた事業展開を目指します。

I 具体的には地区や国際ロータリーの最新の情報を入手し例会や会合出席しロータリーの理解を深めるよう、各委員会活動をやり遂げよう。

II 奉仕プロジェクトで全員参加の奉仕活動を行う

III 会員増強を図り1割増員を図ろう

IV ロータリーデーへの参加

### 札幌 モーニング ロータリー クラブ



私達のクラブは日本一早早い朝7時30分から、朝日を浴びながらラジオ体操から例会が始まります。また、国内でモーニングロータリーのクラブ名を持つ旭川、青森、川口、京都の5クラブで姉妹提携を締結し、交流を深めています。

現在、創立27年目、会員数42名です。創設時以来の会務方針として『会員同士が互いに信頼と友情を結び合える、素晴らしい、心の通ったロータリークラブづくりを目指したいと思います。北海道で最初の早朝例会を行うロータリークラブである特色を存分に発揮し、過去のしきたりや習慣に過度に拘束されることなく、自由な発想による新しい時代の奉仕活動に挑戦していきたいと考えています。』と謳い、今日も継承し活動しています。

今年度はカミネコン植樹、留学生の派遣・受入れ、インターアクト支援等を通じ、地球環境保全・青少年育成・社会奉仕といったロータリーの掲げる複数のテーマを包括した活動を継続することと併せて「会員増強」を重点目標にしています。

### 札幌西 ロータリー クラブ



札幌西ロータリークラブは1960年9月27日に24名の会員で、札幌では4番目のRCとして発足しました。以来54年の歴史の中で5名のガバナーを輩出するとともに、札幌手稲RC、札幌西北RCのスポンサークラブを務めました。

クラブの特徴としては、国際奉仕活動の実績が多くあり、また音楽委員会は全国的な活動をしています。また米山奨学金寄付についても地区の上位にランクされ表彰を受けています。

今期のクラブの重点目標は、昨年から始めている「ピンクリボン活動」(乳がん検診促進活動)の支援を奉仕活動の柱に据えています。9月7日に行われました札幌駅前通りの歩行者空間にて「ピンクリボンイン札幌」のキャンペーンが行われ、札幌西クラブ会員約20名が得意の合唱を披露し、キャンペーンを盛り上げました。またロータリー財団地区補助金と札幌西クラブ資金とを併せて、財政的支援も積極的に行っています。

会員数は140名を超える時もありましたが、現在は50名ほどに減少しています。その為会員増強はクラブ会員が全員で取り組まなくてはいけない課題となっています。

### 札幌西北 ロータリー クラブ



クラブの概要と本年度の重点目標等

当クラブは、清水省吾初代会長提唱にかかる「明るく、楽しく、出席しやすいクラブ」をモットーに会員の親睦を深め、また奉仕の精神に満ちたクラブ運営を行っています。

最近では、「三角山」清掃登山、大通公園の花壇設置など地域環境に目を向けた取り組みを進めています。

先般行われたロータリーデーの募金活動には、連休にもかかわらず、31名中12名もの多数の会員が参加しました。

2015年4月IMでは、オリンピック銀メダリストの葛西氏を講師とし、地域住民への告知・広報活動も念頭に置いた活動を行う予定です。

また、当クラブは、「ゴルフ会」、「パークゴルフ同好会」、「三角山四阿を守る会」、「うなぎの会」、「焼肉友の会」、「マダムズロータリー」、「ネズミの会」など、クラブの活性化と親睦を図るため、各会員のほか、家族も参加できる親睦行事も数多く行ってまいりました。本年度は、ロータリー歴の古い会員と新しい会員の交流も深めるべく、会員卓話の機会を多く設けるようにしています。

後は会員増強が課題です。

### 札幌手稲 ロータリー クラブ



札幌手稲ロータリークラブは、1970年札幌西ロータリークラブをスポンサークラブに創立しました。

現在クラブ会員数は37名(うち女性3名)です。

最年長会員93歳、最年少会員32歳と幅広い年齢層になっています。前年度5名の会員増を果たし、創立45周年を迎えた今年度は、会員45名を合い言葉に会員増強に邁進しております。クラブ45年の歴史の中で先輩諸氏が築き上げてきた「和の心・奉仕の心」を大切にしながら、自由闊達な雰囲気は我がクラブの大きな魅力です。2014～2015年度クラブ目標は下記の通りです。1.ロータリー110年、クラブ創立45周年を祝い価値ある周年事業を行う。2.創立45年、会員数45名を実現する。3.ロータリーデーには、ロータリーの広報、親睦、奉仕活動を企画する。4.障がい者支援、震災復興支援を応援する。

今年度は「爽やかに躍動しようロータリー」をテーマに掲げております。

## 「豪雨災害義援金」報告

～皆様のご協力に感謝申し上げます。  
誠にありがとうございました～

地区内各クラブに募金のお願いを致しました8月に発生しました「豪雨災害」に対する義援金について、既に他の団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の50クラブから総額1,486,644円を頂戴致しました。

10月15日に広島県を管轄する第2710地区に1,086,644円をお振込みし、10月12日開催の第2500地区大会にて被災された礼文ロータリークラブに30万円を贈呈し、被災された会員が非常に多かった当地区の白老RCに10万円贈呈致しましたのでご報告申し上げます。ありがとうございました。

深川RC、妹背牛RC、留萌RC、赤平RC、芦別RC、滝川RC、美唄RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、小樽銭函RC、千歳RC、千歳セントラルRC、長沼RC、由仁RC、えりもRC、様似RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、函館RC、函館亀田RC、森RC、七飯RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、北斗RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC



## 第2510地区 「職業奉仕フォーラム」の実施報告

地区職業奉仕委員会  
委員長 福田 武男(千歳RC)



- 日 時：2014年7月12日(土)
- 対 象：第1・2・3グループ
- 場 所：北海道グリーンランド ホテル・サンプラザ
- 出 席 者：羽部大仁ガバナー、嵯峨義輝エレクト、佐藤秀雄PG、磯野武司ガバナー補佐(第3グループ、栗山RC)  
3グループ16クラブ中—13クラブから出席15人の職業奉仕委員長及び、クラブ役員、4名の地区委員
- 基調講演：「ロータリーの目的—奉仕の理念とは」  
福田武男 地区職業奉仕 委員長

昔ではロータリーは奉仕クラブと云われているが、ロータリーの基本理念と奉仕の哲学の根本が記載されている決議23-34によれば、基本的にはロータリー・クラブは奉仕する団体ではない。ロータリーはクラブとして奉仕するのではなく、会員であるロータリアンが個々に奉仕するのである。従って、ロータリー・クラブは奉仕団体ではなく、奉仕をしようとする人々が集まった社交団体である。よってロータリーでは個人で奉仕するのが本来であるが、時には団体で奉仕することもある。それは会員であるロータリアンに奉仕の実践を教えるため、或は地域社会に奉仕理念の大切さを呼びかけていくために行うのである。

1987~88年度のチャールズ・ケラーRI会長は、ポール・ハリスの逝去(1947年1月27日)以来、RIでは40年間も職業奉仕委員会が開催されていないことを明らかにする。そしてロータリーの職業奉仕を改めて見直した結果、「職業奉仕はロータリアンとロータリー・クラブの双方の責務である」と、ロータリーの職業奉仕に「団体による職業奉仕」という新たな方針を提案した。職業相談、青少年への職業情報、職業体験、模擬面接、出前授業、優良従業員表彰、職場見学などはどれも地域のニーズに応えるために意義のある活動であろうが、どちらかと云えばこれらは社会奉仕の範疇に入る活動と考えられるのでは。

ところで、ロータリーの職業奉仕というのは最初はどうに生まれてきたのだろうか。1955年、ロータリーの50周年に際しシカゴで行われたロータリー実業関係会議でのチェスリー・ペリーの貴重な講演の抜粋がロータリーの友に記載されている(1980年5月号)。【ポールがその著『ロータリーへの道』で述べているように、初期の時代の会員は親切な心と友好的な気持ちの発するままに、あらゆる面でお互いに助け合った。お互いの商売がうまくいくように熱心に努力し、必要な時はお互いの商売をひいきにし合い、助言はもとより、取引が成功するように手を貸し合っていた。しかしながらこの頃のロータリアンがすべて天使のような人間ばかりであったというわけではなかった。彼等の取引のなかには正して欲しいと思われるものも事実あった。ロータリアン同士といえども、最高とはいかぬ商品やサービスを友人に買ってもらうよう或はひいきにしてくれるよう、すすめるわけにはいかない。こうして高い取引の基準を考え出しそれを実際に履行することの必要性が、誰の目にも明らかとなっていった。商取引においてロータリアンという言葉は「純正」と同義語でなければならないということになったのである。これこそが私達がいま職業奉仕と呼んでいるものの萌芽である。この芽は最初のロータリー・クラブで萌え出たのであり、それはまた友情と商売を混ぜ合わせたことから生まれる必然的な結果でもあった。】かくして各自の職業において職業倫理を高めなければならないという気分がますます高まっていき、ついに1915年に「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」が採択される。これはロータリアンに人間の理想と業績のレベルの絶えざる向上を目指して努力をするように求めたもので、実業人としての言行についてロータリアンが守るべき11項目の義務が明示されている。当時のロータリアンにとってこれは相当強い薬であったが、彼等はそれを飲んだのである。またこの「道徳律」を作成しようというムードを強く後押ししたのが、1908年にクラブに入会してきた、後にロータリーの哲人と云われたアーサー・フレデリック・シェルドンである。

彼はミシガン大学商学部卒で、ビジネス・スクールの経営者であったが、シカゴ・クラブの人たちがやっている『人のために考え、人のために尽くそう』というこの考え方は、ミシガン大学で学んだ『サービス』という概念に外ならないということを見出す。ポールは入会したばかりのシェルドンの『サービス』の考え方にすっかり感激し意気投合すると共に、クラブの第3代目会長に引き続いて自薦で第4代目の会長になり、多くの会員がいる中で入会したばかりのシェルドンを「情報・拡大委員長」に大抜擢する。そしてこの「サービス」の考え方をロータリーの対社会的な活動の理論的な基盤にしようとする。

ところで、シェルドンの言う「サービス」とは、日本語の「奉仕」とはかなり意味が異なり、「利己と利他の調和」のことである。この「利己と利他の調和」とは何かというと、適正利潤によって商人は儲かって幸せになるが、顧客もその商品を買って幸せになるという、両者の調和点が無処かになければならないが、これを抽象的な言葉で表すと「利己と利他の調和」ということになる。決議23-34の第1項に、「本来、ロータリーとは、自己のために益せんとする願望と他人に奉仕せんとする義務意識との間に絶えず生じる葛藤を調和せしめんとする人生の哲学を言う」とあるが、これを意識すれば『利己と利他の調和』=『サービス』となる。

ところでロータリーのサービスの理念はさまざまな宗教で言う『黄金律』(ナザレのイエスが「何ごとでも人からして欲しいと望むことは、人々にもその通りにせよ」と同じだという捉え方があるが、いいえ全く同じではなく、ある点では同じであるがある点では少し異なるという捉え方もある。何故なら、宗教における『黄金律』は仏陀や聖人や神の御子の人間が行うことができるであろう理想の教えであるのに対して、ロータリーの説くところは、一般人間のもつ欲望と他人への思いやり精神との調和を考えたものであるから。ポールは、広く実業家の心の中にサービスの理想の精神を吹き込むこと(ロータリー運動)こそ、ロータリーの最大の役目と考えた。

最後にポールの著した1935年の「ロータリーの理想と友愛」の中で、ポールの考えた「奉仕の理念」の説明を紹介する。【奉仕の理想を奉ずる人々は、富は正しい用益を有さないと信ずるものであろうか。答えは言うまでもなく否である。ロータリーの概念する奉仕の理想とは、著者の理解するところでは、物の過程の最初に奉仕を置くものである。換言すれば、奉仕の理想を標榜する者は、受けるべき物質においてではなく、まず与えるべき奉仕に着眼すべきである。物質を眼前におけば見透しは困難になる。そして最も愚かな方法は金銭に集中することである】と。「ギヴ&テイク」という言葉があるが、ロータリーの奉仕の理念は、「ギヴ&ギヴン」、すなわち「与えよ、そうすれば与えられる」、「情けは人のためならず」なのであろう。

## 高齢会員について考える

国際ロータリー第2510地区  
パストガバナー 佐藤 秀雄(千歳RC)



俺は生涯ロータリアンで居たいと望む会員が少なからず存在します。「会員の雇用状況」(2013年度版アジア編国際ロータリー発行)によると、日本のロータリアンの3%が退職(年金生活者)しているとの統計が出ています。年々増加傾向にあるのは間違いのない所であると想像されます。退職された会員は副収入があれば問題ないのですが、年金だけと言う会員が増加傾向にあることは事実であります。ここが問題なのです。

一昨年、当クラブは会員種類を正会員及び名誉会員の他に、終身会員を設けて欲しい旨の制定案を第2510地区、地区大会に提出し圧倒的多数の決議をもってRI規定審議会準備委員会に申請しましたが、委員会は周辺の法整備が不完全である修正のうえ再提出せよ、との文章を頂いたが申請の締め切りが1カ月を切っていたため修正文案を作るいとまなく取り下げざるを得ませんでした。従って、現在のところ金銭を伴わない名誉会員にする以外に方法はないのであろうか。

以前にシカゴクラブが名誉会員数百名を擁していた事実を日本人でシカゴクラブに所属していた会員が「友誌」に書いていたが、クラブ定款では、名誉会員とはロータリーの理想推進のために称賛に値する奉仕をした人、ロータリーの目的を永く支援したことで、ロータリーの友人であるとみなされた人を名誉会員に選挙できると有ります。シカゴクラブの場合、客観的に見て妥当といえるのでしょうか。

しからば、これに対処する方法がないのか、と模索をしてみますと、ロータリーには正会員には3大義務があり、例会に出席すること、会費を納めること、そして友誌を購読すること、であります。国際ロータリー標準クラブ定款細則では、例会出席は年齢とロータリー歴を合わせて85年以上であれば出席免除をクラブ理事会に申請が出来るとなっています。そうしますとRI人頭分担金並びに地区負担金、友誌購読料、米山記念奨学会の寄付等を入れても、たいした金額にはなりません。例会に出席するときは別に食事代として、その都度支払う。クラブはこのような方法をとることにより高齢者会員の維持を図れるのではないかと考えています。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者	美唄RC	下村 雅朝	会員(1回) 9月30日	岩見沢東RC	坂口 堅一	会員(1回) 9月30日
	札幌北RC	藤城 英明	会員(1回) 9月12日	札幌北RC	草間 孝廣	会員(1回) 9月12日
	札幌北RC	桶川 昌幸	会員(1回) 9月12日	札幌北RC	斉藤 昌一	会員(1回) 9月12日
	札幌北RC	嶋田 久昭	会員(1回) 9月12日	札幌北RC	竹原 巖	会員(15回) 9月12日
	札幌手稲RC	福尾俊太郎	会員(5回) 9月26日	札幌東RC	平 公夫	会員(5回) 9月30日
札幌清田RC	江口 洸	会員(5回) 9月 3日	札幌清田RC	永見 貴昭	会員(1回) 9月 3日	
米山功労クラブ	岩見沢東RC	3回	9月30日	札幌手稲RC	25回	9月26日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー	滝川RC	神部 洋史	会員(レベルI) 9月	札幌南RC	羽部 大仁	会員(レベルIII) 9月	
	美唄RC	円子 保	会員(2回) 9月	美唄RC	吉村 誠治	会員(5回) 9月	
	砂川RC	石家 裕二	会員(1回) 9月	滝川RC	松橋 和博	会員(1回) 9月	
	滝川RC	山根 英治	会員(2回) 9月	札幌北RC	福田十太郎	会員(4回) 9月	
	札幌北RC	佐々木 宏	会員(1回) 9月	札幌西北RC	西岡 憲廣	会員(5回) 9月	
マルチプル・ ボール・ハリス・ フェロー	札幌手稲RC	中村 和雄	会員(1回) 9月	札幌東RC	平 公夫	会員(3回) 9月	
	札幌清田RC	江口 洸	会員(2回) 9月	札幌清田RC	中島 永昭	会員(1回) 9月	
	札幌南RC	福山恵太郎	会員(5回) 9月	札幌南RC	橋本 耕二	会員(3回) 9月	
	札幌南RC	松家 治道	会員(2回) 9月	札幌南RC	徳中 征之	会員(2回) 9月	
	小樽RC	秦 健一郎	会員(1回) 9月	小樽RC	菰田 尚正	会員(2回) 9月	
	小樽RC	坂田 道昭	会員(3回) 9月	蘭越RC	志比川 武	会員(5回) 9月	
	千歳RC	佐々木 昭	会員(2回) 9月	千歳RC	川端 清	会員(2回) 9月	
	千歳RC	福田 武男	会員(6回) 9月	千歳RC	藤本 敏廣	会員(2回) 9月	
	千歳RC	瀧澤 順久	会員(5回) 9月	長沼RC	古川 大之	会員(3回) 9月	
	静内RC	平野井 繁	会員(2回) 9月	静内RC	中島 滋	会員(3回) 9月	
	函館五稜郭RC	福岡 一成	会員(2回) 9月	函館五稜郭RC	川畑 武裕	会員(1回) 9月	
	ボール・ハリス・ フェロー	岩見沢東RC	中川 潔	会員 9月	岩見沢東RC	玉山 博士	会員 9月
		札幌北RC	渡邊 靖司	会員 9月	札幌手稲RC	渡辺里代子	会員 9月
		札幌清田RC	丹治 典久	会員 9月	千歳RC	五十嵐 桂一	会員 9月
		千歳RC	藤川 俊一	会員 9月	千歳RC	加藤 輝明	会員 9月
千歳RC		福田 裕子さん	9月	恵庭RC	前田 利和	会員 9月	
静内RC		日暮 孝男	会員 9月	静内RC	土屋 祐喜	会員 9月	
室蘭RC		中田 敏行	会員 9月				

2017-2018年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 羽部 大仁  
地区ガバナー指名委員長 熊澤 隆樹

2017-2018年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項~5項及び第8節の資格条件に適用することを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)

国際ロータリー第2510地区地区ガバナー指名委員会規定(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

地区組織図の変更について

地区国際奉仕委員会について

委員の加藤健太郎会員(函館RC)がクラブを退会されましたので、地区国際奉仕委員会の組織から削除をお願い致します。

2014年11月のロータリーレート 1ドル 106円

私の雑想ノート No.5

『職業奉仕』知る(to know)と成る(to be)

バスターガバナー  
塚原 房樹  
(札幌東RC)



いつも職業奉仕の卓話をするときと思うことは、先達が開発した職業奉仕の文献をそのまま、あるいは他人の言葉を孫引きして伝えることでのいいのかという疑問です。最近、自分の言葉で職業奉仕を語りたくなりました。ロータリーの職業奉仕の本質は、職業奉仕がロータリアンの生活の中に生かされてくるとでなければ、いかに理論に卓越していても無意味です。

私がロータリーに入会(1977年)したころはロータリーの勉強をするということは大変なことでした。ロータリー運動の根幹である良質で優れたロータリーの思想・職業奉仕を学ぶために、当時入手の可能な限り内外の先達の文献資料を読み漁りました。「職業奉仕とは何か」を咀嚼して自信を持って語れるようになるために、古文庫に埋もれて努力しました。そのころに比べるとネット社会の今は、いつでも簡単にどんな資料でも一瞬で手に入ります。昔の職業奉仕委員長さんは、限られた資料しかなく苦労しましたが、今はネット上に職業奉仕の情報は氾濫しています。PPTによる講演の内容も簡単にネットから「コピペ」できます。おそらく今はどこの地区の職業奉仕委員長さんや、クラブの職業奉仕委員長さんも、職業奉仕に関する情報はネットから得られていることでしょう。熱心な方は、ネットをくまなくアクセスして内外の膨大な資料を蒐集され勉強されています。しかし職業奉仕委員長さんの役目は単なる資料の蒐集ではありません。職業奉仕を勉強するために委員長に選ばれたのではなく、職業奉仕の実践方法を会員に伝えるために選ばれたのです。

職業奉仕は、知る(to know)にとどまっていはいけません。成る(to be)に移らねばなりません。私たちは自分を中心として、その外側にあるもの…客観的に存在するものについて知るのを知識/ナリッジ/と言います。単に新しいことを知るの知識が一つ増えただけです。何の発明も発展もありません。しかし自己の内側にあるもの、つまり物事の本質を学ぶのを知恵/ウイズダム/と言います。職業奉仕委員長さんの役目は、単に職業奉仕の知識/ナリッジ/の伝達だけではいけない、ロータリアンが職業奉仕を自覚して(to be)の段階に移ってもらわねばなりません。いくら職業奉仕の哲学を説いても、職業奉仕をいかに実践するかは、各ロータリアンの観智に任されています。ではどうしたらいいのでしょうか。

人は皆生まれつき仏性・観智を持っています。しかし「珠磨かざれば光なし」という言葉のとおり、私は結局、職業奉仕とは各人の「自覚」「反省」に訴えることが重要だと思います。

職業奉仕委員会から

ロータリーの本の紹介

「ロータリーは人を作る」  
佐藤 千壽 著(1975年)

「私本人作りロータリー上・下」  
佐藤 千壽 著(1996年)

358地区(2580地区-東京・沖縄)の1974~75年度PGであった佐藤千壽氏(東京・東ロータリークラブ)の講演原稿28篇を収録したもの。佐藤氏が地区ガバナーであった時のRI会長ビル・ロビンズ氏から受けた強烈な刺激がこの本を作らせる原動力になったとのこと。また21年後の1996年にはその続編として「私本人作りロータリー上・下」が出版された。ロータリーの職業奉仕を正に地でを行ったロータリアンであり、是非一読を勧めたい。

職業奉仕のミニ情報

単なる衝動的な奉仕活動は、その活動が金額的に多額であっても或は規模的に大きなものであっても、「ロータリーの奉仕活動」とは言わない。奉仕の実践を行うには、その前提として奉仕理論の認識がなくてはならない。理論の裏付けのない実践活動は、極言すると単なる筋肉の収縮にしか過ぎないもの。心の境地を高め、その高揚の発露により、即ち奉仕の心が因縁の熟成により、現象として具現されるものがロータリーの実践である。

米山便り

留学生生活を振り返って

ピョウ イー  
米山奨学生 朴 懿  
(札幌西北RC)



私は2000年、中学一年生の時に両親と来日しました。当時はまだ日本語が全く不慣れなものでしたので、日本に早く馴染めるように地元の中学に入学しました。そのおかげで日本人の友達がたくさんできました。

また、国語の先生と、放課後に一緒に日本語の勉強をしました。日本語は本当に難しい言語で、みなさんには、想像できないと思われそうですが、ひらがなとカタカナを覚えることがまず大変でした。私はこうして先生に助けられ、周りの友達と遊びながら、日本語を学びました。この経験から言えることは、言語はやっぱり使って覚えることですね。

脳科学の研究を志しておりましたので、今の精神科学という研究室に入りました。ここからは、私の研究の紹介です。

私はアルツハイマーについて研究しています。アルツハイマーは、みなさんご存知だと思いますが、認知症の一つです。先進国では、患者が年々増加しているのに、未だに発病機構が未解明の脳の病気です。私が在学中に完璧に解明できないだろうと思いますが、それでも発病機構の研究の進歩に繋がれば幸いです。

研究の話の最後に、少し学会で聞いた予防の話をしたと思います。認知症予防に効く食品として、野菜・果物が挙げられますが、とにかく健康的な食事を取り適度に運動することが最適です。これはきっとどんな病気の予防にも繋がると思います。

**新 会 員 の ご 紹 介** 敬称略



苫小牧RC  
**渡邊 武志**  
入会日：9月5日  
職業分類：一般建設工事



苫小牧RC  
**中原 茂人**  
入会日：9月5日  
職業分類：一般建設工事



千歳RC  
**杉本 正和**  
入会日：9月25日  
職業分類：自動車部品製造



苫小牧RC  
**宮崎 洋二**  
入会日：10月3日  
職業分類：一般建設工事

**訃 報** 謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



**栗林 徳光** 会員  
(室蘭ロータリークラブ)  
2014年8月29日ご逝去(享年93歳)  
【ロータリー歴】  
1950年12月15日 入会  
(戦後復帰時チャーターメンバー)  
1965～1966年度 会長  
1986～1987年度 創立50周年実行委員長  
各委員長および記念事業委員長歴任



**中谷 幸司** 会員  
(滝川ロータリークラブ)  
2014年9月7日ご逝去(享年78歳)  
【ロータリー歴】  
1980年7月 入会  
1984～1985年度 社会奉仕委員長  
1987～1988年度 プログラム委員長  
1991～1992年度 幹事  
2003～2004年度 会計  
【表彰関係】  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1回)  
米山功労者

**文庫 通信**

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。  
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。  
以下資料のご紹介を致します。

**古典文献より(2)**

[下記申込先:ロータリー文庫]

- ◎「ロータリー・クラブに就て」 米山梅吉 1929 12p (ロータリー・クラブ民衆文庫)
- ◎「汎太平洋ロータリー大会に臨みて」 トム・サットン 芝染太郎(解説) 1929 3p (ロータリー・クラブ民衆文庫)
- ◎「ロータリークラブの目的と信条」 村田省蔵 D.70 1934 9p (ロータリーを語る)
- ◎「ロータリークラブに就て」 坂田幹太 1928 12p
- ◎「国際ロータリーの組織に就いて」 米山梅吉 1931 8p
- ◎「常識の重要性」 米山梅吉 1937 6p (東京ロータリークラブニュース)
- ◎「新ラッキ会員ノ為メニ」 大阪R.C. 1928 43p
- ◎「第七十區ガバナー告辞」 村田省蔵 今治R.C. 1935 13p (今治ロータリー倶楽部発会式記録)
- ◎「サーヴァイス座談會」 京都R.C. 1937 8p (京都ロータリー倶楽部週報附録)

**ロータリー文庫**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝日

**出席率・会員数**

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2014.9.30	増減	内女性	
1	深川	4	33	35	2	2	91.00
	羽幌	4	47	47	0	2	78.72
	妹背牛	4	10	12	2	0	83.33
	留萌	3	40	41	1	3	73.10
小計			130	135	5	7	81.54
2	赤平	4	29	29	0	0	73.00
	芦別	4	37	37	0	2	66.66
	砂川	4	38	38	0	0	96.05
	滝川	4	81	83	2	2	72.00
	小計			185	187	2	4
3	美唄	4	30	30	0	0	89.47
	江別	4	32	32	0	1	85.94
	江別西	4	25	26	1	3	100.00
	岩見沢	4	74	77	3	0	92.67
	岩見沢東	4	23	24	1	3	79.38
	栗沢	4	24	24	0	1	94.60
	栗山	4	24	24	0	4	98.96
	当別	4	25	27	2	0	86.01
小計			257	264	7	12	90.88
4	札幌	4	112	125	13	0	98.94
	札幌はまなす	4	12	14	2	2	89.29
	札幌北	3	33	34	1	3	86.87
	札幌モーニング	4	40	42	2	0	69.59
	札幌西	4	50	51	1	7	91.37
	札幌西北	4	31	31	0	3	82.30
	札幌手稲	3	37	37	0	3	92.59
小計			315	334	19	18	87.28
5	札幌東	4	114	122	8	0	98.18
	札幌清田	4	17	17	0	4	100.00
	札幌幌南	4	57	61	4	4	99.59
	札幌真駒内	4	22	24	2	4	100.00
	札幌南	2	78	81	3	0	99.39
	札幌大通公園	4	12	13	1	1	71.15
	新札幌	4	22	23	1	2	86.05
小計			322	341	19	15	93.48
6	岩内	4	18	18	0	1	84.65
	倶知安	4	40	41	1	5	72.00
	小樽	4	73	76	3	0	87.25
	小樽南	4	71	74	3	2	90.45
	小樽銭函	4	19	20	1	2	82.00
	蘭越	3	11	11	0	0	96.90
	余市	4	45	46	1	4	82.50
小計			277	286	9	14	85.11

9月出席率・会員増減数

- クラブ数 70クラブ
- 期首会員数 2,497人
- 当月末会員数(女性) 2,584人(119人)
- 増加会員数 87人
- 当月平均出席率 84.37%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2014.9.30	増減	内女性	
7	千歳	4	52	58	6	5	90.10
	千歳セントラル	3	31	34	3	3	82.35
	恵庭	4	46	48	2	3	79.06
	北広島	4	17	17	0	1	89.70
8	長沼	4	19	19	0	3	87.00
	由仁	4	5	7	2	0	57.14
	えりも	4	20	22	2	1	90.91
	三石	3	15	15	0	2	75.80
	様似	4	24	24	0	1	78.65
9	静内	4	60	62	2	0	87.65
	浦河	4	22	24	2	1	80.21
	小計		141	147	6	5	82.64
	伊達	4	57	56	-1	0	85.85
	室蘭	4	37	37	0	0	95.27
	室蘭東	3	35	35	0	0	73.30
10	室蘭北	5	40	39	-1	3	60.02
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	8	8	0	0	100.00
	小計		208	206	-2	4	83.05
	函館	4	81	84	3	1	77.14
11	函館亀田	4	41	41	0	5	93.75
	森	3	39	39	0	0	70.00
	七飯	4	18	17	-1	0	70.30
	長万部	4	9	8	-1	0	78.10
12	函館セントラル	4	27	24	-3	2	75.67
	小計		215	213	-2	8	77.49
	江差	4	10	11	1	1	63.60
	函館五稜郭	4	46	48	2	0	84.91
	函館東	4	46	49	3	5	74.93
合計	函館北	4	21	21	0	0	97.62
	北斗	4	14	14	0	0	55.36
	松前	2	4	4	0	0	100.00
	小計		141	147	6	6	79.40
	白老	4	31	32	1	2	79.60
合計			2,497	2,584	87	119	84.37

## 地区カレンダー(11月・12月)

11月 ロータリー財団月間		12月 家族月間	
1(土)		1(月)	
2(日)		2(火)	
3(月)	文化の日	3(水)	
4(火)	公式訪問(岩見沢東RC)	4(木)	
5(水)	公式訪問(恵庭RC)	5(金)	
6(木)	公式訪問(芦別RC)	6(土)	2015-16年度ガバナー補佐会議(岩見沢)
7(金)		7(日)	
8(土)	米山学会定時総会・懇親会予定(札幌)	8(月)	
9(日)		9(火)	
10(月)		10(水)	
11(火)	公式訪問(北広島RC)	11(木)	地区ガバナー指名委員会(札幌)
12(水)		12(金)	
13(木)	公式訪問(岩見沢RC)	13(土)	2015-16年度地区補助金管理セミナー(札幌)
14(金)	公式訪問(苫小牧RC)	14(日)	
15(土)		15(月)	
16(日)		16(火)	
17(月)	公式訪問(札幌南RC)	17(水)	
18(火)	公式訪問(札幌西RC)	18(木)	
19(水)	公式訪問(札幌RC)	19(金)	
20(木)		20(土)	
21(金)	公式訪問(札幌南RC)	21(日)	
22(土)	第10・第11グループ合同IM(函館)	22(月)	
23(日)	勤労感謝の日	23(火)	天皇誕生日
24(月)	振替休日	24(水)	
25(火)	ロータリー財団地域セミナー(東京)	25(木)	
26(水)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会(東京)	26(金)	
27(木)	ロータリー研究会(東京)	27(土)	
28(金)	ロータリー研究会(東京)	28(日)	
29(土)	～12/3(水)国際奉仕検証事業(タイ)	29(月)	
30(日)		30(火)	
		31(水)	



### 表紙の解説

今月はリンゴを表紙に描きました。

リンゴは豊平区の区旗にも描かれています。環状線にはリンゴ並木があり、秋には実を付けています。年度をスタートするにあたり、始めに描いたのがリンゴでした。それは地区の封筒に描かれています。

始めは何枚も書いたのですが、今改めて見ると殆どが不揃いのリンゴになっていてその中で一番美味しそうなのを今回出荷することにしました。是非お召し上がりください。

私の母はいつも「少し形の悪い方が美味しいのよ」と言っていました。昔平岸や澄川や中之島の檀家さんにはリンゴ農家が多く、秋には木箱に入ったリンゴを沢山頂戴しました。私達姉弟にとってリンゴは嬉しいおやつでした。今でもリンゴが大好きです。

「一枚起請文」とリンゴはあまり関わりがないのですが、母の口癖に「知るものは言わず、言うものは知らず」良く知ったふりして恥をかくよとは今の私への誡めだったと思います。

歎異抄に「すべて万のことに付て往生には賢きおもひを具せずして、ただほればれと弥陀のご恩の深重なることつねに思ひ出しまひらすべし」と諭しておられました。

羽部